

★さっぽろサケフェスタ2009

9/23
開催

会場：札幌市豊平川さけ科学館
時間：午前10時～午後4時

親子でサケや水辺の生き物について楽しく学べる催しがいっぱいあるよ！



▶サケの重さ当てクイズ



▶サケの人工受精見学

- ・館内クイズラリー
- ・サケタッチプール
- ・サケの魚拓と塩イクラの作り方講座
- ・サケの工作コーナー
- ・森と川の紙芝居
- ・森と水辺の体験コーナー ほか

もっといろいろ知りたい方は 札幌市豊平川さけ科学館へ

所在地 南区真駒内公園 2番1号
開館時間 午前9時15分～午後4時45分
休館日 月曜日（祝休日の場合は次の平日）、
年未年始（12月29日～1月3日）
入館料 無料
電話番号 582-7555
ホームページ <http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>



※地下鉄南北線「真駒内駅」からじょうてつバス<南90、95～98>、<環96>乗車「真駒内競技場前」下車。



サケから学ぼう 環境の大切さ！

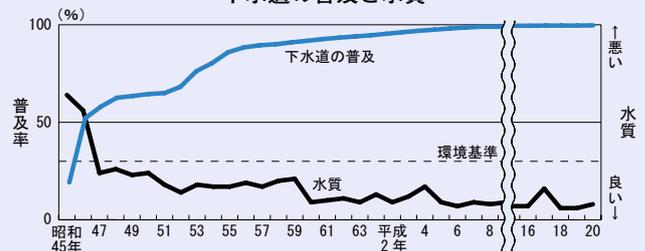
卵からふ化したサケの稚魚は、4～5カ月ぐらいを豊平川で過ごし、それから日本海を経てベーリング海やアラスカ湾の辺りを回遊し、再び豊平川へ戻ってきます。今では、毎年約千～二千尾のサケが戻ってくるほど環境が回復してきた豊平川ですが、例えば回遊する海が汚染されたり地球温暖化によって海水温が上昇したりすると、サケはどうなってしまうのでしょうか。

サケは、身近な豊平川の環境だけではなく、もっと広い視点で環境を考えていくことの大切さも教えてくれています。

●下水道の普及と水質の改善

昭和40年代前半、下水道の普及状況は10～20%弱と低く、急速な人口の増加による生活排水や工業排水の流入によって、豊平川の水質は悪化していきました。しかし、昭和47年の札幌オリンピックを契機としてこの前後から下水道整備は一気に進み、普及率は昭和46年には50%を超え、昭和50年代半ばには80%に達し、家庭や工場から出された汚れた水は、下水道を通して下水処理場で処理されてから川に流されるようになりました。これに伴い、豊平川の水質も回復し、サケが戻ってこられる環境になっていきました。

下水道の普及と水質



豊平川さけ科学館が開館。
「カムバックサーモン運動」の高まりを受けて、サケのふ化・放流を続けるためのふ化場とサケについて学習するための施設として誕生。



豊平川の「魚道」を整備。



平成6年～10年

平成21年

毎年恒例となった5月の連休に行われる「サケ稚魚放流体験」で、稚魚の累計放流数が1,000万尾を超えた。

